

令和6年度シラバス（エッセイライティングⅠ）

中等3 新潟県立燕中等教育学校

教科(科目)	英語（エッセイライティングⅠ）	単位数	2単位	学年(コース)	6学年（国際科学科）
使用教科書	教科書『Genius English Logic and Expression Ⅲ』				
副教材等	活動用教科書ワークシート				

1 グラデュエーション・ポリシーおよびカリキュラムポリシー

グラデュエーション・ポリシー	<p>①高い学力・幅広い教養・学び続ける姿勢を身に着け、グローバル（地域的・地球的）な視野から社会課題を多面的に発見・考察し、その解決に向けて挑戦・行動・発信する能力を育成します。</p> <p>②高い倫理観，他者を思いやる心，傾聴する姿勢，豊かなソーシャル・スキルを持った人物を育成します。</p> <p>③リーダーシップ・フォロワーシップを身に付け，地域社会・国際社会と協働する態度を育成します。</p>
カリキュラム・ポリシー	<p>①中高一貫教育を生かし，高い学力と学び続ける姿勢を身に付ける教育課程を編成するとともに，すべての教科・科目において「深い学び」を実現します。</p> <p>②読書，新聞・図書室の活用を奨励するとともに，体験活動を取り入れた教育課程により，幅広い教養を育みます。また，探究の過程を重視するとともに，最新の教育方法を積極的に活用します。</p> <p>③4技能をバランスよく育成する英語授業を実践するとともに，「生きた英語」を学習する機会としての海外研修やさまざまな発表活動に取り組みます。また，積極的に国際交流活動にも取り組んでいきます。</p> <p>④アイデンティティを形成しつつ地域理解を深め，地球的視野で自分なりの社会課題を発見し，科学的な手法を用いてその解決を目指す課題研究を6年間通じて実施します。</p> <p>⑤6年間一貫した方針による道徳や人権教育等を実施するとともに，生徒会活動，部活動，課外活動を通して，主体的・自律的に考え行動し，互いに支え，高め合いながら協働的に活動することを重視します。</p>

2 学習目標

<ol style="list-style-type: none"> コミュニケーションを支えるものとしての文法の形式・意味・機能に習熟し，必要な場面で適切な文法形式を用いて正しく表現することができる。 日常的话题や社会的な話題について，支援をほとんど活用しなくても，多様な語句や文を用いて，情報や考えなどを論理の展開や構成を工夫しながら詳しく話して伝え合うことができる。 日常的话题や社会的な話題について，支援をほとんど活用しなくても，複数の資料を活用しながら，多様な語句や文を用いて，情報や考えなどを論理の展開や構成を工夫しながら詳しく話して伝えることができる。 日常的话题や社会的な話題について，支援をほとんど活用しなくても，複数の資料を活用しながら，多様な語句や文を用いて，情報や考えなどを論理の展開や構成を工夫しながら複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができる。
--

3 指導の重点

一年間で、次の技術習得を目指す。

- 1 スピーチ、プレゼンテーション、ディスカッション、ディベート、段落構成を確認しながら文を書くことなどアウトプット活動を通して、論理の構成を工夫して話したり書いたりして伝えることを目指す。
- 2 特にディベートでは、即興ディベートから政策ディベートまで広く学習し、チームで協働しながら主体的で対話的な深い学びを実現する。
- 3 表現活動の基盤として、文法・語法の強化に努める。

4 評価の観点の趣旨

学習状況は、以下の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点から評価します。各 Unit では、主として、〈話すこと[やり取り]〉〈話すこと[発表]〉〈書くこと〉の3領域のうち、1つの領域に焦点を当てた言語活動にもとづいて評価を行います。

観点	内容	
① 知識・技能	話すこと [やり取り]	[知識] 対話の展開のしかたや論理構成について理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、支援をほとんど活用しなくても、日常的话题や社会的な話題について、複数の資料を活用しながら、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合う、また、意見や主張などを論理の展開や構成を工夫しながら詳しく話して伝え合う技能を身につけている。
	話すこと [発表]	[知識] 話の展開のしかたや論理構成について理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、支援をほとんど活用しなくても、日常的话题や社会的な話題などについて、複数の資料を活用しながら、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝える、また、意見や主張などを論理の展開や構成を工夫しながら詳しく話して伝える技能を身につけている。
	書くこと	[知識] パラグラフの展開のしかたや論理構成について理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、支援をほとんど活用しなくても、日常的话题や社会的な話題について、複数の資料を活用しながら、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを書いて伝える、また、意見や主張などを、論理の展開や構成を工夫しながら詳しく書いて伝える技能を身につけている。
② 思考力・判断力・表現力	話すこと [やり取り]	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、支援をほとんど活用しなくても、日常的话题や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、複数の資料を活用しながら、多様な語句や文を用いて、論理の展開や構成を工夫しながら詳しく話して伝え合っている。
	話すこと [発表]	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、支援をほとんど活用しなくても、日常的话题や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、複数の資料を活用しながら、多様な語句や文を用いて、論理の展開や構成を工夫しながら詳しく話して伝えている。
	書くこと	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、支援をほとんど活用しなくても、日常的话题や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、複数の資料を活用しながら、多様な語句や文を用いて、論理の展開や構成を工夫しながら詳しく書いて伝えている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	話すこと [やり取り]	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、支援をほとんど活用しなくても、日常的话题や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、複数の資料を活用しながら、多様な語句や文を用いて、論理の展開や構成を工夫しながら詳しく話して伝え合おうとしている。また、外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手・話し手に配慮しながら、主体的に英語を用いて話して伝え合おうとしている。
	話すこと [発表]	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、支援をほとんど活用しなくても、日常的话题や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、複数の資料を活用しながら、多様な語句や文を用いて、論理の展開や構成を工夫しながら詳しく話し

		て伝えようとしている。また、外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて話して伝えようとしている。
	書くこと	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、支援をほとんど活用しなくても、日常的话题や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、複数の資料を活用しながら、多様な語句や文を用いて、論理の展開や構成を工夫しながら詳しく書いて伝えようとしている。また、外国語の背景にある文化に対する理解を深め、読み手に配慮しながら、主体的に英語を用いて書いて伝えようとしている。

5 評価の方法：上記の3つの観点について、以下の a-d の方法を適宜組み合わせ、A~C で評価します。

a	授業中のペアワークやグループワークへの参加状況
b	各 Unit の最後にある言語活動への取り組み状況（話すこと[やり取り]，話すこと[発表]，書くこと）
c	小テスト，パフォーマンステスト（話すこと[やり取り]，話すこと[発表]，書くこと）
d	定期考査（中間考査・期末考査）
内容のまとめりごとに、各観点 「A：十分満足できる」 「B：おおむね満足できる」 「C：努力を要する」で評価します	

6 学習計画

月	単元名	学習のねらい	時間	評価規準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
4	Unit 1 Should People Have Pets?	ペットを飼うべきか否かについて意見を述べることができる。 〈書くこと〉	5	エッセイを書く上で必要な構成やパラグラフの展開について理解している。 国際エッセイコンテストに向けて、子どもがペットを飼うことの是非について、これまでに学んだ表現を用い、複数の資料を参考にしながら、論理の展開や構成を工夫して書いて伝える技能を身につけている。	国際エッセイコンテストに向けて、子どもがペットを飼うことの是非について、これまでに学んだ表現を用い、複数の資料に基づく理由や具体例を交えて、論理の展開や構成を工夫して150語以上、あるいは3つ以上のパラグラフで書いている。	国際エッセイコンテストに向けて、子どもがペットを飼うことの是非について、これまでに学んだ表現を用い、複数の資料に基づく理由や具体例を交えて、論理の展開や構成を工夫して150語以上、あるいは3つ以上のパラグラフで書こうとしている。

4	Unit 2 B Printed Books or E-Books?	紙の書籍と電子書籍のどちらが良いかについて意見を述べることができる 〈書くこと〉	5	エッセイを書く上で必要な構成やパラグラフの展開について理解している。 地元の新聞への投稿として、紙の書籍と電子書籍を比較するエッセイを、これまでに学んだ表現を用い、複数の資料を参考にしながら、論理の展開や構成を工夫して書いて伝える技能を身につけている。	地元の新聞への投稿として、紙の書籍と電子書籍を比較するエッセイを、これまでに学んだ表現を用い、複数の資料に基づく理由や具体例を交えて、論理の展開や構成を工夫して150語以上、あるいは3つ以上のパラグラフで書いている。	地元の新聞への投稿として、紙の書籍と電子書籍を比較するエッセイを、これまでに学んだ表現を用い、複数の資料に基づく理由や具体例を交えて、論理の展開や構成を工夫して150語以上、あるいは3つ以上のパラグラフで書こうとしている。
5	Unit 3 Which Media Provides the Most Trustworthy Information?	最も信頼できるメディアは何かについて議論することができる。 〈話すこと[やり取り]〉	5	グループ・ディスカッションの流れについて理解している。 最も信頼できるメディアは何かについて、これまでに学んだ表現を用い、複数の資料を参照しながら、論理の展開や構成を工夫して話し合っ て伝える技能を身につけている。	最も信頼できるメディアは何かについて、これまでに学んだ表現を用い、複数の資料に基づく理由や具体例を交えて、論理的にグループ・ディスカッションを行っている。	最も信頼できるメディアは何かについて、これまでに学んだ表現を用い、複数の資料に基づく理由や具体例を交えて、論理的にグループ・ディスカッションを行おうとしている。
5	Unit 4 Which Language Is the Best to Learn?	どの言語を学ぶべきかについて意見を述べるすることができる。 〈書くこと〉	5	エッセイを書く上で必要な構成やパラグラフの展開について理解している。 どの言語を学ぶべきかについて、これまでに学んだ表現を用い、複数の資料を参考にしながら、論理の展開や構成を工夫して書いて伝える技能を身につけている。	どの言語を学ぶべきかについて、これまでに学んだ表現を用い、複数の資料に基づく理由や具体例を交えて、論理の展開や構成を工夫して150語以上、あるいは3つ以上のパラグラフで書いている。	どの言語を学ぶべきかについて、これまでに学んだ表現を用い、複数の資料に基づく理由や具体例を交えて、論理の展開や構成を工夫して150語以上、あるいは3つ以上のパラグラフで書こうとしている。

5	<p>Unit 5</p> <p>What Abilities Will Be Needed in a Society with Highly Advanced AI?</p>	<p>AI 時代に求められる能力について意見を述べることができる。</p> <p>〈話すこと[発表]〉</p>	6	<p>論理的なスピーチの展開方法について理解している。</p> <p>AI 時代に求められる能力や AI の有効活用について、これまでに学んだ表現を用い、複数の資料を参照しながら、論理の展開や構成を工夫して話して伝える技能を身につけている。</p>	<p>AI 時代に求められる能力や AI の有効活用について、これまでに学んだ表現を用い、複数の資料に基づく具体例を交えて、聴衆に伝わるようにスピーチしている。</p>	<p>AI 時代に求められる能力や AI の有効活用について、これまでに学んだ表現を用い、複数の資料に基づく具体例を交えて、聴衆に伝わるようにスピーチしようとしている。</p>
6	<p>Unit 6</p> <p>How Can Gender Equality Be Realized?</p>	<p>どうすればジェンダー平等を実現できるかについて意見を述べることができる。</p> <p>〈書くこと〉</p>	6	<p>記事を書く上で必要な構成やパラグラフの展開について理解している。</p> <p>ジェンダー平等について、これまでに学んだ表現を用い、複数の資料を参考にしたしながら、論理の展開や構成を工夫して書いて伝える技能を身につけている。</p>	<p>ジェンダー平等について、これまでに学んだ表現を用い、複数の資料に基づく理由や具体例を交えて、論理の展開や構成を工夫して 150 語以上、あるいは 3 つ以上のパラグラフで書いている。</p>	<p>ジェンダー平等について、これまでに学んだ表現を用い、複数の資料に基づく理由や具体例を交えて、論理の展開や構成を工夫して 150 語以上、あるいは 3 つ以上のパラグラフで書こうとしている。</p>

6	Unit 7 Should All Public Spaces Have Security Cameras?	公共の場における 防犯カメラ設置の 是非について討論 することができ る。 〈話すこと[やり取 り]〉	6	ディベートの流れに ついて理解してい る。 公共の場における防 犯カメラ設置の是非 について、これまで に学んだ表現を用 い、複数の資料を参 考にしながら、論理 の展開や構成を工夫 して話し合って伝え る技能を身につけて いる。 レポートを書く上で 必要な構成やパラグ ラフの展開について 理解している。	公共の場における 防犯カメラ設置の 是非について、こ れまでに学んだ表 現を用い、複数の 資料に基づく具体 例や説明を交えて、ディベートを 行っている。	公共の場における 防犯カメラ設置の 是非について、こ れまでに学んだ表 現を用い、複数の 資料に基づく具体 例や説明を交えて、ディベートを行おうとしている。
7	Unit 8 Will Human Life Expectancy Increase?	人間の寿命は将来ど うなるかについて意 見を述べることがで きる。 〈書くこと〉	6	レポートを書く上で必 要な構成やパラグラフ の展開について理解し ている。 将来、平均寿命が延び るかどうかについて、 これまでに学んだ表現 を用い、複数の資料を 参考にしながら、論理 の展開や構成を工夫し て書いて伝える技能を 身につけている。	将来、平均寿命が延 びるかどうかについて、 これまでに学んだ表 現を用い、複数の 資料に基づく理由 や具体例を交えて、 論理の展開や構成を 工夫して150語以上、 あるいは3つ以上の パラグラフで書いて いる。	将来、平均寿命が延 びるかどうかについて、 これまでに学んだ表 現を用い、複数の 資料に基づく理由 や具体例を交えて、 論理の展開や構成を 工夫して150語以 上、あるいは3つ以 上のパラグラフで書 こうとしている。

9	Unit 9 What Kind of Company Would You Start?	起こしたい事業に ついてプレゼンテ ーションすること ができる。 〈話すこと[発 表]〉	6	効果的なプレゼンテ ーションの展開方法 について理解してい る。 高校生の困りごとを 解決する新規ビジネ スモデルについて、 これまでに学んだ表 現を用い、複数の資 料を参照しながら、 論理の展開や構成を 工夫して話して伝え る技能を身につけて いる。	高校生の困りごと を解決する新規ビ ジネスモデルにつ いて、これまでに 学んだ表現を用い 、複数の資料に 基づく具体例を交 えて、視覚資料も 活用しながら、聴 衆に伝わるように グループでプレゼ ンテーションをし ている。	高校生の困りごと を解決する新規ビ ジネスモデルにつ いて、これまでに 学んだ表現を用い 、複数の資料に 基づく具体例を交 えて、視覚資料も 活用しながら、聴 衆に伝わるように グループでプレゼ ンテーションをし ようとしている。
10	Unit 10 Better Designs for a Better Life	生活をより良くす るユニバーサルデ ザインについての 考えを述べること ができる。 〈書くこと〉	7	レポートを書く上で 必要な構成やパラ グラフの展開につ いて理解している。 ユニバーサルデザ インについて、これ までに学んだ表現 を用い、複数の資 料を参考にしなが ら、論理の展開 や構成を工夫し て書いて伝える技 能を身につけてい る。 都会と田舎のどち らに住むべきかにつ いて、対比・対照 する表現や類似を 示す表現、譲歩を 表す構文を用い、 論理の展開や構 成を工夫して書 いて伝える技能を 身につけている。	ユニバーサルデザ インについて、こ れまでに学んだ表 現を用い、複数の 資料に基づく理 由や具体例を交 えて、論理の展 開や構成を工夫 して150語以上、 あるいは3つ以 上のパラグラフ で書いている。	ユニバーサルデザ インについて、こ れまでに学んだ表 現を用い、複数の 資料に基づく理 由や具体例を交 えて、論理の展 開や構成を工夫 して150語以上、 あるいは3つ以 上のパラグラフ で書こうとして いる。

10	Unit 11 What Should Be Done to Protect the Earth?	地球環境を守るための提言をすることができる。 〈話すこと[発表]〉	7	効果的なプレゼンテーションの展開方法について理解している。 地球環境を守るためにすべきことや日本に広めたい取り組みについて、これまでに学んだ表現を用い、複数の資料を参照しながら、論理の展開や構成を工夫して話して伝える技能を身につけている。	地球環境を守るためにすべきことや日本に広めたい取り組みについて、これまでに学んだ表現を用い、複数の資料に基づく具体例を交えて、視覚資料も活用しながら、聴衆に伝えるようにプレゼンテーションをしている。	地球環境を守るためにすべきことや日本に広めたい取り組みについて、これまでに学んだ表現を用い、複数の資料に基づく具体例を交えて、視覚資料も活用しながら、聴衆に伝えるようにプレゼンテーションをしようとしている。
11	Unit 12 Writing a Short Story	ショート・ストーリーをつくることができる。 〈書くこと〉	6	ショート・ストーリーを書く上で必要な構成や話の展開のさせ方について理解している。 これまでに学んだ表現を用い、話の展開や構成を工夫して子どもを喜ばせるショート・ストーリーを書いて伝える技能を身につけている。	これまでに学んだ表現を用い、話の展開や構成を工夫して子どもを喜ばせるショート・ストーリーを3つ以上のパラグラフで書いている。	これまでに学んだ表現を用い、話の展開や構成を工夫して子どもを喜ばせるショート・ストーリーを3つ以上のパラグラフで書こうとしている。

計70時間（50分授業）

7 課題・提出物等

1	与えられたトピックに関連する表現や論理構成を学ぶ
2	Unit 1～Unit 12の活動用教科書ワークシート
3	Unit 1～Unit 12の言語活動を行う

8 担当者から一言

<p>5年生で養ったコミュニケーションを図る資質・能力を踏まえ、「話すこと（やりとり）」と「話すこと（発表）」、および「書くこと」の3つの領域を中心とした発信能力を育みます。特にディスカッションとディベート、段落間のつながりを意識して聞き手や読み手を意識して英語で書くということに重点を置きます。論理の構成や展開を工夫して伝え合う、または伝える、書くことを目標に頑張りましょう。積極的に授業に参加し、話す活動、各活動の体験を重ねることで論理的に考える習慣や、共感したり豊かに想像する習慣を身につけましょう。基礎的な力を定着させ、応用力を養うために家庭学習は欠かせません。課題や自主学習にもしっかり取り組み、充実した一年にしましょう。（担当：乙川、北原、東條）</p>
